

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 組～組

教科担当者：（1組：鈴木洋子（2組：神津忠寿）（3組：神津忠寿（4組：鈴木洋子（5組：神津忠寿（6組：鈴木洋子（7組：遠藤 浩司）

使用教科書：（Enrich Learning English Communication I）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】基本的な語句、文法を理解し必要な情報を正確に把握することができる。

【思考力、判断力、表現力等】日常的な話題や社会的な話題について、情報や自分の考えなどを話して伝え合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】日常的な話題や社会的な話題について、能動的に学習し新たな情報をもとに自分の知見を広げることができる。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な語句、文法を理解して、必要な情報を聞き取り、話し手、聞き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話し、且つ書いて伝えることができる。	日常的话题から社会的な出来事までに関心を持ち、能動的に学習し、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話し、また文章で伝え合ったりすることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
Unit 1 【知識及び技能】 受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えていることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの話題について情報や自分の考えなどを聞き手にわかりやすく話して伝え合おうとした。	○	○	○	6
Unit 2 【知識及び技能】 助動詞+受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの迷信や信念について、聞いたことを読んだりしたことを活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの迷信や信念について読み手を意識して要点や具体例を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 助動詞+受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの迷信や信念について、聞いたことを読んだりしたことを活用しながら読み手を意識してまとめることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの迷信や信念について読み手を意識して要点や具体例を書こうとした。	○	○	○	6
1 学 期 定期考査			○			○					1
Unit 3 【知識及び技能】 分詞や関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 環境保全に関する内容について、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 フォーマルなEメールを書くことで読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 分詞や関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 環境保全に関する内容について、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 フォーマルなEメールを書くことで読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書こうとした。	○	○	○	6
Unit 4 【知識及び技能】 現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたことを読んだりしたことを活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたことを読んだりしたことを活用して聞き手にわかりやすく伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたことを読んだりしたことを活用することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたことを読んだりしたことを活用して聞き手にわかりやすく伝え合おうとした。	○	○	○	6
定期考査			○			○					1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「 」 書	話 「 」 書					
2 学 期	Unit 5 【知識及び技能】 SVOC [分詞]，関係副詞how，助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの出来事について，わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの出来事について，体験した内容を基に，聞き手を引き付けながら，わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	○	○	○	7
	Unit 6 【知識及び技能】 分詞構文，関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人物を紹介するために，読み手を意識し情報を整理しまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 人物を紹介するために，関連のある情報を時系列で書いたり，略歴を紹介したりして，読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査		○			○					1
	Unit 7 【知識及び技能】 原形不定詞，仮定法過去完了，過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 パラグラフの構成を意識して書いたり，本論で理由を具体例とともに述べる。 【学びに向かう力、人間性等】 主張を展開するために，読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書く。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	○	○	○	8
3 学 期	Unit 8 【知識及び技能】 関係代名詞what，関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と他人の生活との類似点や相違点に触れながら，メモを活用して，その概要をわかりやすくまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの場で，自分と他人の類似点や相違点に触れながら，わかりやすく話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査		○			○					1
	Optional Reading 1 【知識及び技能】 語や句，文における強勢，イントネーションや区切りを意識して読む。 【思考力、判断力、表現力等】 行き違いの経験やその時の気持ちについて，伝える内容を整理し考える。 【学びに向かう力、人間性等】 互いの考えを深めるために，行き違いの経験やその時の気持ちについて，伝える内容を整理し，自分の考え・気持ちを話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○		○		○	○	○	○	8
	Optional Reading 2 【知識及び技能】 ストーリーで用いられている語，句，文の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ストーリーの内容について，登場人物の心情を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の特徴を捉えようとして，それぞれが経験したエピソードや心情について伝え合う。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication I ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り ONE NOTEで意見の共有	○		○		○	○	○	○	8
定期考査		○			○					1	

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（1 組：加藤正紀（2 組：加藤正紀）（3 組：加藤正紀（4 組：清野 優斗（5 組：木之下 敬（6 組：清野 優斗）（7 組：木之下 敬

使用教科書：（Enrich Learning English Communication II）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】基本的な語句、文法を用いて、社会的な話題について、概要や要点を論理性に注意して捉えることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的な話題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話し合うだけでなく、書いて伝え合うことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】社会的な話題について、話し手、書き手の意図を捉え、能動的に学習し自分の知見を広げることができる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的な話題について、基本的な語句、文法を用いて、必要な情報を聞き取り、話し手、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、目的に応じて表現することができる。	社会的な話題に関心を持ち、話し手、書き手の意図を捉え、能動的に学習し自分の知見を広げることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （「 や 」）	話 （「 発 」）	書						
1 学 期	Unit 1 【知識及び技能】 助動詞＋完了形、不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話題について情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の絶滅危惧種について、参照した情報を基に重要な点を簡潔に整理して、聞き手にわかりやすく詳細を話して伝える。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpointを使用した発表	○	○	○	○	○		○	○	○	10
	Unit 2 【知識及び技能】 ・受け身の不定詞、助動詞doによる強調を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 eスポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を含めて自分の考えを詳細に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 eスポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を伝え合ったりしながら、自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合定期考査	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpointを使用した発表	○	○	○	○	○		○	○	○	8
	Unit 3 【知識及び技能】 先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験・経験を基に、事実と意見を区別して、詳細を整理して書く。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体験・経験を基に、情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書こうとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpointを使用した発表	○	○	○	○	○		○	○	○	10
	Unit 4 【知識及び技能】 強調構文、関係副詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特定の発明品が世の中にどの程度影響を与えたのかについて、事実と意見を区別しながら話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の発明品が世の中にどの程度影響を与えたのかについて、聞き手に納得してもらえるよう、事実と意見を区別しながら、詳細をわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に、個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpointを使用した発表	○	○	○	○	○		○	○	○	10
定期考査			○		○			○	○		1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 読 】	話 【 発 】					
2 学 期	Unit 5 【知識及び技能】 接続詞＋分詞，完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ギャップ・イヤーの普及について，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ギャップ・イヤーの普及について，自分の意見を伝えるために，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書こうとしている。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 接続詞＋分詞，完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 ギャップ・イヤーの普及について，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書いた。 【学びに向かう力、人間性等】 ギャップ・イヤーの普及について，自分の意見を伝えるために，利点と欠点を踏まえ，構成を意識して複数のパラグラフで論理的に書こうとした。	○	○	○	12
	Unit 6 【知識及び技能】 部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アンケートについて，回答結果を基に，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 アンケートについて，回答結果を基に，割合を表したり解釈を付け加えたりして，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 アンケートについて，回答結果を基に，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 アンケートについて，回答結果を基に，割合を表したり解釈を付け加えたりして，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えようとした。	○	○	○	12
	定期考査		○			○		○	○		1
	Unit 7 【知識及び技能】 受け身の進行形，be動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話す。 【学びに向かう力、人間性等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話し，詳細を伝え合おうとしている。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 受け身の進行形，be動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話し，詳細を伝え合おうとしていた。	○	○	○	11
	Unit 8 【知識及び技能】 複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で詳細を伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で話して，詳細を伝え合おうとする。	・指導事項 Think-Pair-Shareの指導を中心に，個から全体への意見の共有を通し学びを深める。 ・教材 Enrich Learning English Communication II ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用 Formsを活用した振り返り Powerpoint を使用した発表	○	○	○	○	Unit 8 【知識及び技能】 複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で詳細を伝えた。 【学びに向かう力、人間性等】 ある記事を読んで分析した内容について，事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で話して，詳細を伝え合おうとした。	○	○	○	11
定期考査			○				○	○		1	

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現 I

教科： 外国語

科目： 論理・表現 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1Aa: 神津 忠寿) (11s: 吉田 幸代) (14s: 清野 優斗) (1Ba: 清野 優斗) (12s: 鈴木 洋子) (15s: 吉田 幸代)
(1Ca: 吉田 幸代) (13s: 鈴木 洋子) (16s: 神津 忠寿) (17a: 鈴木 洋子) (17s: 神津 忠寿)

使用教科書： (APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

科目 論理・表現 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。	日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話	書	書					
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】 現在形、過去形、進行形の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○			【知識及び技能】 現在形、過去形、進行形の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在形、過去形、進行形を使って、自分や周りの人について紹介することができた。 ・自分があこがれる人について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、自分の考えを相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自分があこがれる人について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、自分の考えを相手に積極的に伝えようとしていた。	○	○	○	2
	Lesson 2 【知識及び技能】 未来を表す表現 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○			【知識及び技能】 未来を表す表現を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・未来を表す表現を使って、未来のことに表現できた。 ・週末の予定について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 週末の予定について、相手に伝わりやすい工夫をしながら、積極的に伝えようとしていた。	○	○	○	2
	Lesson 3 【知識及び技能】 助動詞の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○			【知識及び技能】 助動詞の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・助動詞を使って、自分ができることや相手への依頼等について表現できた。 ・助動詞を使って、富士山を訪れる際の注意事項について、相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 富士山を訪れる際の注意事項について、助動詞を使って、相手に積極的に伝えようとしていた。	○	○	○	2
定期考査							○	○	○	1	

1 学 期	Lesson 4 【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形 【思考力、判断力、表現力等】 ・完了形の様々な表現を使って、自分の経験を紹介できる。 ・国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、手順を追い、論理的に自分の考えを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、積極的に自分の考えを発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○						【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・完了形の様々な表現を使って、自分の経験を紹介できた。 ・国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、手順を追い、論理的に自分の考えを発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 国内旅行と海外旅行のどちらが良いか、積極的に自分の考えを発表しようとしている。	○	○	○	2
	Lesson 5 【知識及び技能】 受動態の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・受動態の表現を使って、様々なことについて紹介できる。 ・自分が好きな日本の食べ物について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が好きな日本の食べ物について、積極的に紹介することができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○						【知識及び技能】 受動態の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・受動態の表現を使って、様々なことについて紹介できた。 ・自分が好きな日本の食べ物について、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、紹介することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が好きな日本の食べ物について、積極的に紹介することができた。	○	○	○	2
	Lesson 6 【知識及び技能】 比較級と最上級の用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較級や最上級の表現を使い、身の回りの数量の関係について表現できる。 ・ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、積極的に発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○	○	○		【知識及び技能】 比較級と最上級の用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較級や最上級の表現を使い、身の回りの数量の関係について表現できた。 ・ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ギネスブックに載せる計画について、比較級や最上級の表現を使って、積極的に発表しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査									○	○	○	1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	言 話	発 話	書					
Lesson 7 【知識及び技能】 同等比較と倍数比較の表現 【思考力、判断力、表現力等】 ・同等比較と倍数比較の表現を使って、身の回りの数量の関係について表現できる。 ・食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、積極的に発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 同等比較と倍数比較の表現を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同等比較と倍数比較の表現を使って、身の回りの数量の関係について表現できた。 ・食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 食品ロスを減らす方法について、論理的に自分の考えを、積極的に発表しようとしていた。	○	○	○	2
Lesson 8 【知識及び技能】 動名詞の用法とto不定詞の名詞的用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・動名詞や不定詞の表現を使って、将来の計画について表現できる。 ・災害への備えや発生時の行動について、論理的に自分の考えを、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 災害への備えや発生時の行動について、積極的に自分の考えを、相手に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○		○	【知識及び技能】 動名詞の用法とto不定詞の名詞的用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動名詞や不定詞の表現を使って、将来の計画について表現できた。 ・災害への備えや発生時の行動について、論理的に自分の考えを、相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 災害への備えや発生時の行動について、積極的に自分の考えを、相手に伝えようとしていた。	○	○	○	2
Lesson 9 【知識及び技能】 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法 【思考力、判断力、表現力等】 ・不定詞の表現を使って、活動の目的や事物の紹介をすることができる。 ・留学先に日本から持っていきたいお土産について、不定詞の表現を使って、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 留学先に日本から持っていきたいお土産について、積極的に相手に伝える。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○		○	【知識及び技能】 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不定詞の表現を使って、活動の目的や事物の紹介をすることができる。 ・留学先に日本から持っていきたいお土産について、不定詞の表現を使って、相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 留学先に日本から持っていきたいお土産について、積極的に相手に伝えようとしていた。	○	○	○	2
定期考査								○	○	○	1
Lesson 10 【知識及び技能】 現在分詞と過去分詞 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在分詞や過去分詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができる。 ・出来事の順序について、現在分詞や過去分詞を使って、相手に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事の順序について、積極的に相手に説明しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○		○	【知識及び技能】 現在分詞と過去分詞を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在分詞や過去分詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができる。 ・出来事の順序について、現在分詞や過去分詞を使って、相手に説明することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事の順序について、積極的に相手に説明しようとしていた。	○	○	○	2
Lesson 11 【知識及び技能】 関係代名詞 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができる。 ・オリジナル製品のアイデアについて、関係代名詞を使って、論理的に発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 オリジナル製品のアイデアについて、積極的に発表しようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○		○	○	○	【知識及び技能】 関係代名詞を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を使って、身の回りの人や物の紹介をすることができる。 ・オリジナル製品のアイデアについて、関係代名詞を使って、論理的に発表することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 オリジナル製品のアイデアについて、積極的に発表しようとしていた。	○	○	○	2
Lesson 12 【知識及び技能】 関係副詞 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係副詞を使って、時や場所について説明をすることができる。 ・おすすめの観光地について、その魅力を、関係副詞を使って相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 おすすめの観光地について、その魅力を、相手に伝えようとしている。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I EARTHRISE 書いて覚えるパターンプラクティス Practice 英文法道場 ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○		○	【知識及び技能】 関係副詞を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係副詞を使って、時や場所について説明をすることができる。 ・おすすめの観光地について、その魅力を、関係副詞を使って相手に伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 おすすめの観光地について、その魅力を、相手に伝えようとしていた。	○	○	○	2
定期考査								○	○	○	1

都立雪谷 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 英|外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：(21A 木之下) (21S 遠藤) (2BA 遠藤) (2CA 木之下) (2DA 吉田) (22S 清野) (25S 加藤) (23S 清野) (26S 吉田) (24S 木之下) (27S 清野)

使用教科書：(FACTBOOK English Logic and Expression II)

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現す

【学びに向かう力、人間性等】日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなど

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現を学ぶ。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する。	日常的な話題や社会的な話題について、英文から得られた情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えなどを適切に表現する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
Unit 1 【知識及び技能】 文型の拡張：主語の拡張 【思考力、判断力、表現力等】 相手も知っていると思われる情報を伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ある事象に対して自分の意見をはっきりのと相手に伝えるができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression II FACTBOOK English Logic and Expression II Workbook EARTHRISE Focus on Listening Basic ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○	○	【知識及び技能】 文型の拡張：主語の拡張が理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 相手も知っていると思われる情報を伝えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ある事象に対して自分の意見をはっきりのと相手に伝えることができた。	○	○	○	4
Unit 2 【知識及び技能】 文型の拡張：目的語・説明語句の拡張 【思考力、判断力、表現力等】 目上の相手に丁寧に聞き返すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 目の前にある問題の解決方法を話し合える。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression II FACTBOOK English Logic and Expression II Workbook EARTHRISE Focus on Listening Basic ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○	○	Unit 2 【知識及び技能】 文型の拡張：目的語・説明語句の拡張 【思考力、判断力、表現力等】 目上の相手に丁寧に聞き返すことができた。 【学びに向かう力、人間性等】 目の前にある問題の解決方法を話し合えた。	○	○	○	4
定期考査							○	○		1
Unit 3 【知識及び技能】 修飾による拡張：名詞の説明 【思考力、判断力、表現力等】 特に焦点を当てて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 目の前の問題について眺めの意見を言うことができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression II FACTBOOK English Logic and Expression II Workbook EARTHRISE Focus on Listening Basic ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○	○	Unit 3 【知識及び技能】 修飾による拡張：名詞の説明が理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 特に焦点を当てて説明することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 目の前の問題について眺めの意見を言うことができた。	○	○	○	4
Unit 4 【知識及び技能】 修飾による拡張：動詞句の説明、文の説明 【思考力、判断力、表現力等】 久しぶりに会った相手に言葉をかけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の問題解決のため議論ができる。	・指導事項 個から全体への意見の共有を通して理解を深める。 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression II FACTBOOK English Logic and Expression II Workbook EARTHRISE Focus on Listening Basic ・一人1台端末の活用 等 Formsによる振り返り 視覚教材	○	○	○	○	Unit 4 【知識及び技能】 修飾による拡張：動詞句の説明、文の説明が理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 久しぶりに会った相手に言葉をかけることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 特定の問題解決のため議論ができた。	○	○	○	4
定期考査							○	○		1

1学期

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	コミュニケーション英語Ⅲ (必修・必選・自選)	対象学年	3	単位数	4	予定授業時間	90
教科書	UnicornⅢ NEW EDITION	担当者	茂木、松ノ井、吉田、遠藤				
副教材	SKYWARD CLOUDS(桐原書店)						

目標		<ul style="list-style-type: none"> ・各大学の入試英文を収録した教材を活用し、長文読解に必要な新出単語や熟語を理解し、長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身につける。 ・教科書内容と類似した長文演習に取り組み、実践的な読解力を身に付ける。 					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期		READING SKILL 1 Time Order	・時間の経過に沿って展開される英文の読み方を学ぶ。				
		READING SKILL 2 Listing / Examples	・練習問題によって実践する。				
		READING SKILL 3 Compare and Contrast	・具体例が提示される英文の読み方を学ぶ。				
		READING SKILL 4 Cause and Effect	・ふたつ(あるいはふたつ以上)の事柄を対比させながら展開される英文の読み方を学ぶ。				
		READING SKILL 5 Pronouns	・練習問題によって実践する。				
		READING SKILL 6 Reasoning	・原因(理由)と結果によって展開される英文の読み方を学ぶ。				
		READING SKILL 7 Skimming	・英文中に現れる代名詞が具体的に指すものに注意しながら読む方法を身につける。				
		LESSON 1 Blocks to Solving Problems	・筆者の主張と事実を見極めながら読む方法を身につける。				
		LESSON 2 Ideas Aren't Cheap—They're Free	・練習問題によって実践する。				
		LESSON 3 We're Being Watched	・文の主旨をすばやく読み取るスキミングの方法を身につける。				
LESSON 4 How Robots Are Taking Over the World of Work	・リーディングスキルとして解決案の例示を挙げることによって筆者が何を言おうとしているのかを読み取る。						
LESSON 5 Rediscovering Washoku	・掲載のパズルを自分なりの自由な発想で解く。						
2 学期		LESSON 6 Lessons from Okinawa: How to Live a Long and Healthy Life	・なぜ創造性が必要なのか、筆者の考えを読み取る。				
		LESSON 7 Luminous Fog Hides the Milky Way	・自分に想像力が働くときはどんなときかを考え、発表する。				
		LESSON 8 The Birth of the Aralqum	・リーディングスキルとして、本文でキーワードとなる語を探す。				
		LESSON 9 The Power of Introverts	・ロンドンの監視カメラ事情についてどう思うか意見を発表する。				
		LESSON 10 How to Fall in Love with Anyone	・公共の場で監視カメラが設置されることについてどう思うか意見を交換する。				
			・リーディングスキルとしてトピックセンテンスを挙げる。				
3 学期		LESSON 11 Don't Be Deceived: Evaluating Numbers	・法律、金融、接客業が「複雑」な理由について、具体的な事例などを入れながら説明する。				
		LESSON 12 Language and the Shape of Thought	・リーディングスキルとして具体的な業種の例を挙げる				
		LESSON 13 The Future	・ファーストフードが必要かどうかについて意見を書く。				
		LESSON 14 Is "Eco-friendly" Really Green?	・リーディングスキルとして和食の特色を列挙する。				
評価の観点と方法	宿題考査、中間及び期末考査の得点、各課題の提出状況、授業に取り組む姿勢などを総合的に評価する。						

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	英語表現Ⅱ(必修・必選・自選)	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	48
教科書	Vision Quest English Expression II Ace	担当者	茂木、松ノ井、木之下、神津				
副教材	Simple Skills for English Writing Revised Edition Dual Scope 総合英語 LISTENING TEST 共通テスト英語リスニング30min						

目標		英語を通じて積極的に明確に、論理的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	24	<p>【Vision Quest】 Part 2 Lesson 1、Lesson 2、Lesson 3 文と文をつなぐ、パラグラフを意識したライティング</p> <p>【Simple Skills for English Writing Revised Edition】 1章、2章、3章、4章、5章、6章、7章 主語を決める、時制の考え方を身に着ける、時間の考え方を身につける、コロケーションを意識する、態に気をつける、動詞表現を使いこなす、動詞の働きに注意する①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用場面や機能を念頭に置いて、言語の実際の使われ方を理解する。 ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得し、反復練習により定着させる。 ・英語で表現する際のポイント等を理解し、コミュニケーションを図る力を培う。 ・自己表現活動を通じて、創造性を培い、自主および自律の精神を養う。 				
2 学期	28	<p>【Vision Quest】 Part 2 Lesson 4、Lesson 5、Lesson 6 パラグラフを意識したライティング、リーディングの要点・要約</p> <p>【Simple Skills for English Writing Revised Edition】 8章、9章、10章、11章、12章、13章、14章 動詞の働きに注意する②、名詞の数と冠詞を意識する、無生物主語を使って簡潔に書く、やさしく説明的に言い換える、中心的な情報に絞る、比較の表現を身につける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用場面や機能を念頭に置いて、言語の実際の使われ方を理解する。 ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得し、反復練習により定着させる。 ・英語で表現する際のポイント等を理解し、コミュニケーションを図る力を培う。 ・自己表現活動を通じて、創造性を培い、自主および自律の精神を養う。 				
3 学期	4	<p>【Vision Quest】 Part 2 Lesson 7 リスニングの要約</p> <p>【Simple Skills for English Writing Revised Edition】 15章、16章、17章 対話文・説明文、自分の意見、ストーリーを書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用場面や機能を念頭に置いて、言語の実際の使われ方を理解する。 ・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得し、反復練習により定着させる。 ・英語で表現する際のポイント等を理解し、コミュニケーションを図る力を培う。 ・自己表現活動を通じて、創造性を培い、自主および自律の精神を養う。 				
評価の観点と方法		定期考査の点数、課題の提出状況、授業に取り組む姿勢などを総合的に評価する。					

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	長文発展(必修・必選・ 自選)	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	48
教科書		担当者	松ノ井				
副教材	SKYWARD Sky Course 2nd Edition						

目標		<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	20	● SKYWARD Sky Course 2nd Edition Unit 1～8	<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 				
2 学期	24	● Cutting Edge Blue Unit 9～16	<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 				
3 学期	4	● 大学入試過去問演習	<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 				
評価の観点と方法		宿題考査、中間及び期末考査の得点、各課題の提出状況、授業に取り組む姿勢などを総合的に評価する。					

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	長文発展(必修・ 必選 ・自選)	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	48
教科書		担当者	松ノ井				
副教材	SKYWARD Sky Course 2nd Edition						

目標		<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	20	● SKYWARD Sky Course 2nd Edition Unit 1～8	<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 				
2 学期	24	● Cutting Edge Blue Unit 9～16	<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 				
3 学期	4	● 大学入試過去問演習	<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要なフレーズやイディオムの理解、新出単語や熟語を習得し、英語長文を読む力を身に付ける。 ・パラグラフ中のトピックセンテンスを掴み、内容理解の精度を高める。 ・様々なテーマを通して異なる文化や価値観を学び、知的好奇心を高め、幅広い知識と教養を身に付ける。 				
評価の観点と方法		宿題考査、中間及び期末考査の得点、各課題の提出状況、授業に取り組む姿勢などを総合的に評価する。					

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	英語基礎（必修・ 必選 ・自選）	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	44
教科書	UNICORN Communication English II	担当者	茂木 尚子				
副教材	Cutting Edge Yellow（エミル出版）						

目標		長文読解を通じて、英語の基礎を復習する。音読や語彙力の養成とともに、論理的な思考を育成し、事実や意見などを多様な観点から考察し、読み取ったり、聞き取ったり、発信する基礎的な能力を養う。					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	20	<ul style="list-style-type: none"> ●Unit 1～Unit 10 ●リスニング問題演習 	英語を通じて積極的に明確に、論理的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えたり、読み取ったり、聞き取ったりする基礎的な能力を養う。				
2 学期	20	<ul style="list-style-type: none"> ●Unit 11～Unit 18 ●入試対策 ●リスニング問題演習 	英語を通じて積極的に明確に、論理的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えたり、読み取ったり、聞き取ったりする基礎的な能力を養う。				
3 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ●Optional Lesson ●入試対策 	英語を通じて積極的に明確に、論理的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えたり、読み取ったり、聞き取ったりする基礎的な能力を養う。				
評価の観点と方法		宿題考査、中間及び期末考査の得点、各課題の提出状況、授業に取り組む姿勢などを総合的に評価する。					